

発行元：國造神社総代会広報 2016. 1. 3

過去最高の人出 裸放水で初詣客を魅了

國造神社と菅原神社の平成28（2016）年初詣は元旦、2日に執り行われ、好天にも恵まれて初穂料奉納者は延べ270人を超え、賽銭を含むお供え料が初めて100万円の大台に乗るなど過去最多の参拝客で賑わいました。元旦は境内で金沢市第一消防団野町分団に



よる勇壮な裸放水が泉用水を利用して行われ、下帯一枚の若い衆が威勢の良い立ち振る舞いを披露して新年の寿ぐ気分を花を添えました。泉芳交会、氏子総代会の歳旦祭に続き、飛び入りで初老を迎える氏子さん（泉本町1丁目）、家内安全を願う若い親子連れ（弥生2丁目）や厄年を迎える女性（泉本町1丁目）のお祓いが田中正真宮司により丁寧に行われました。今年は例年以上に若い家族連れや帰省家族が目立ち、神社の様変わりも印象付けたほか、神社の参道周辺には神社の旗が、境内では真紅の流し旗がたなびき、清々しい正月気分を盛り上げました。

堀孝宏さんが垂幕、旗、折り畳み椅子奉納

泉旭町2丁目西部町会氏子総代の堀孝宏さんが12月30日、國造神社と菅原神社本殿に垂幕各1張、國造神社名入り幟旗10枚、幟旗掲載用ポール10本、参詣用木製折り畳み椅子25脚を奉納されました。＝写真右下は田中正真宮司から感謝状を受ける堀さん（左）＝。奉納品のお祓い、感謝状贈呈式の後、正月準備に入り、早速、古い垂幕は新しい垂幕と取り替えられ、本殿の装いを一新しました。＝写真左下、菅原神社＝。國造神社の垂幕は

昭和56年9月に、菅原神社は昭和12年4月に、いずれも当時の氏子総代一同が寄贈したのですが、生地の傷みが激しく、修復が迫られていただけに、新年の嬉しい贈り物になりました。

氏子総交代 泉誠交会の氏子総代は12月10日付で鈴木啓三郎さん（泉3丁目）に代わって宮永実さん（同）が就任しました。

